



各 位

2022年8月9日

上場会社名 古河機械金属株式会社
代表者 代表取締役社長 中戸川 稔
(コード番号 5715 東証プライム市場)
問合せ先責任者 経理部長 三影 晃
(TEL 03-6636-9502)

2023年3月期 第2四半期累計期間連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期の第2四半期累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）の業績予想値を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）の連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A) (2022年5月12日 発表)	百万円 108,400	百万円 2,700	百万円 2,800	百万円 2,000	円 銭 51.52
今回修正予想(B)	104,200	3,300	4,500	2,800	72.12
増減額(B-A)	△ 4,200	600	1,700	800	
増減率(%)	△ 3.9%	22.2%	60.7%	40.0%	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	97,804	3,483	4,089	2,311	59.14

2. 連結業績予想の修正の理由

第2四半期累計期間の業績予想につきましては、前回（2022年5月12日）発表の業績予想との比較において、売上高は、ロックドリル部門では、主として、海外における油圧ブレーカ、油圧クローラドリルの出荷増および円安の影響により増収となり、金属部門では、電気銅の販売数量減を主因として減収となる見込みです。営業利益については、ロックドリル部門は、増収により増益となり、金属部門は、円安に伴う電気金の価格差益などにより前回発表並みとなる見込みです。以上の結果、連結全体の売上高を下方修正し、営業利益を上方修正しています。また、これに加え、為替差益を見込み、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、それぞれ上方修正しています。

なお、通期の連結業績予想につきましては、現時点で見直しを行わず、前回（2022年5月12日）発表の業績予想のとおりとしています。

(注) 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上